

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策 : 01 地域の潤いにつながる観光資源の発信

主管課長職・氏名	観光物産課長 朝岡 将人
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	地域が潤い市民とともに素晴らしい滝沢の創造を目指して、変化する諸課題に対応しつつ観光物産振興を推進するため、連携する団体及び市内事業者の支援を行います。また、市内物産や観光の各資源の最新情報を収集し活用するとともに、地域資源の情報発信により交流の推進と経済効果を生み出すことで、市内事業者の経営基盤強化、雇用の確保に努め地域の潤いにつながる産業振興を推進します。							
--	---	--	--	--	--	--	--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合 単位 %	41.9	43.9	46	48	50	50	C
			48.7	48.9	44.9	42.7	42.7	9.9
2	幸福 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	78	80	80	C
			69.1	68.1	71.2	75	75	7.4
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 03010100 公民連携による観光まちづくり ここ1年で、滝沢市内で、自分の住んでいる地域以外の行事に参加したことがある人の割合 単位 %	25.9	27	29	31	33	33	D
			29.5	26.3	13.6	18	18	△111.3
2	暮らし 03010200 安定した雇用の確保 現在の仕事に満足している人の割合 単位 %	55.1	56	58	59	61	61	D
			53.4	52.3	54.5	53.9	53.9	△20.3
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策：03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策：01 地域の潤いにつながる観光資源の発信

主管課長職・氏名	観光物産課長 朝岡 将人
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> 地域の潤いにつながる観光資源の発信については、一般社団法人滝沢市観光物産協会と連携してホームページ、SNS等を用いて各種情報発信を実施しました。また、物産振興については、地域産品をふるさと納税返礼品への活用などを通じて滝沢市の魅力を全国に発信する取り組みを実施しました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 滝沢市観光協会の法人化に向けた活動等を支援します。 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光物産振興の重要なパートナーである滝沢市観光協会へ法人設立支援を行い、令和 4年 4月 1日（一社）滝沢市観光物産協会が設立されました。 	

3. 基本施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>令和元年度末から国内で拡大した新型コロナウイルス感染症の観光産業へ影を落としたが、感染症法上の分類が2類から5類へ変更されたことなどにより、コロナ禍以前の状況までには回復していないものの、インバウンド誘客を含め観光需要は回復基調が続いています。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策の「公民連携による観光まちづくり」は、今後の観光資源の発信と活用につながり、「安定した雇用の確保」は、地域の潤いにつながる事から、基本施策の「地域の潤いにつながる観光資源の発信」の見直しは必要ないと考えます。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会環境の変化により観光物産振興への需要は新型コロナウイルス感染症の影響から回復基調が継続するものと考えられます。また、コロナ禍以前よりインバウンド誘客が活性化することが予想されることから、情報発信の方法やイベントの実施方法などを検討する必要があります。 <p>【引継ぎ課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光分野の分野別計画を策定する必要があります。 	

